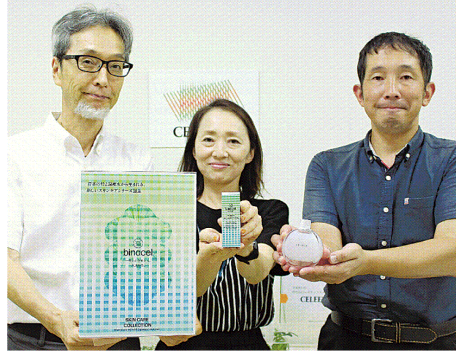


豊後大野の竹×長湯温泉水美容液

大分大発のベンチャー開発



クラウドファンディングで支援を呼びかける西脇毅代表取締役CEO（右）ら＝大分大

【大分】大分大発のベンチャー企業「おおいだCELLENA（セレーナ）」

（大分市中央町）は、豊後大野市内で取った竹と竹田市直入町の長湯温泉水を使った美容液「binocel serum（ビナセルラム）」を開発した。クラウドファンディングを活用してPRし、支援者には新商品を届ける。

竹繊維の主成分セルロースをナノ（10億分の1）のレベルまで細かくした新素材「セルロースナノファイバー（CNF）」を美容液（30ミリリットル）に50％配合している。肌に優しく、保湿

性に優れた特徴があるという。竹の粉は地域活性化団体「ながたに振興協議会」（豊後大野市大飼町黒松）から購入し、CNFを生成する過程で長湯の炭酸泉を使用。大分大理工学部の衣本太郎准教授（48）＝機能物質化学Ⅱが確立した抽出技術を活用した。

クラウドファンディング

は、大分合同新聞社や大分銀行が運営する「sandwich（サンドイッチ）」で実施している。目標額は50万円、期限は10月末。支援者には販売予定価格（税込み4400円）より安く提供する。

西脇毅代表取締役CEO（45）は「消費者のニーズを把握し、一般販売につなげたい」と話した。

（佐藤章史）



開発した美容液